

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心大血管術後の嚥下内視鏡検査で異常所見をみとめる症例の特徴

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 高塚七緒（リハビリテーション科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2024年3月末

目的：心大血管の手術後に嚥下障害をみとめることがあるが、嚥下内視鏡で直接観察して咽頭機能の評価を行った報告は少ない。本研究では、心大血管術後の嚥下内視鏡検査で異常をみとめた患者さんとそれ以外の患者さんの情報を比較し、検査で異常をみとめる患者さんの特徴を明らかにすることを目的とする。

方法：単施設で行う後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2018年1月～2019年12月に当院で心大血管の手術を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴、受けた手術の内容、嚥下内視鏡検査の所見、手術後の経過等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

リハビリテーション科 医師 高塚七緒

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971